



女性でも簡単！ ファミリー物置ダシーレ組み立て説明マニュアル

ダシーレは女性でも組み立て簡単！
今回は女性社員二人でダシーレの組み立てを実践してみました！



今回の組み立て品 SRM-1215(TGY)

女性でも簡単に
組み立てできました♡
(弊社女性社員)



使い方は様々！

タイヤなどの車用品や肥料に！



レジャー用品に！



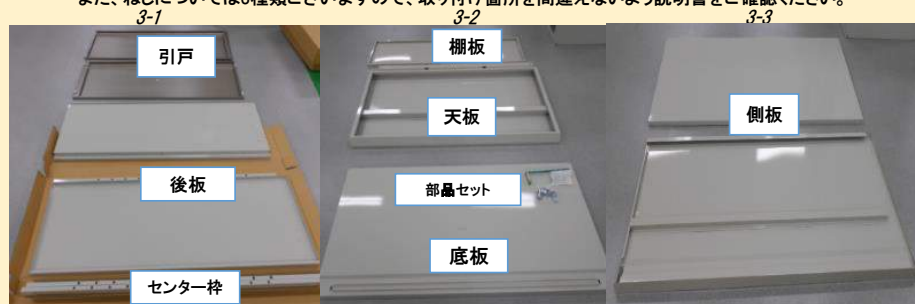
防災用品に！



GREEN LIFE

●部品内容

ダシーレは3梱包になっております。説明書と照らし合わせて組み立て前に部品が全て揃っているかご確認ください。
また、ねじについては3種類ございますので、取り付け箇所を間違えないよう説明書をご確認ください。

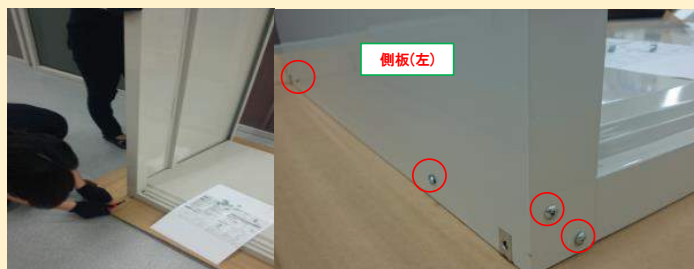


使用するねじは3種類。
使用場所を間違えないように注意して
組み立てを行きましょう。

軍手とドライバーの準備ができれば
組み立ての開始です！



①底板と側板の組付け



左右の側板にスピードナットを各2か所取り付けます。次に※薄板用タッピンねじを使用して側板を底板に組み付けます。もう一人が側板を支えてあげると組付けやすいです。上記のように左右各4か所仮締めを行ってください。締めすぎると穴が広がりねじで固定できなくなりますので締め付けすぎに注意してください。

※タッピンねじとは？



タッピンねじは穴にねじ込むことによって振動によるねじの緩み防ぐ効果があります。取り付け穴よりもねじが大きくなっており、取り付ける際には少し力が必要です。

②天枠の組付け

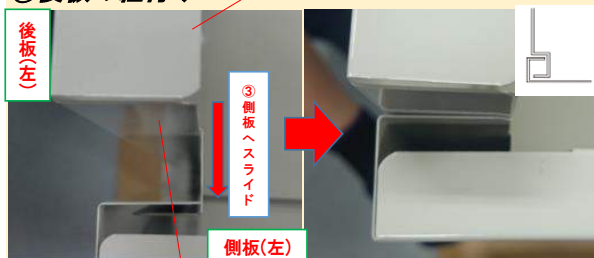


天枠を左右の側板に差し込みます。天枠と側板の穴をしっかりと合わせましょう。
薄板用タッピンねじを左右各3か所に仮締めを行います。内側部分も忘れずに取り付けましょう。

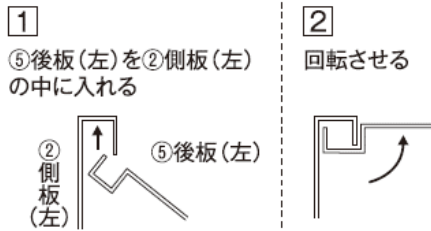
GREEN LIFE

③後板の組付け

①後板浮かす



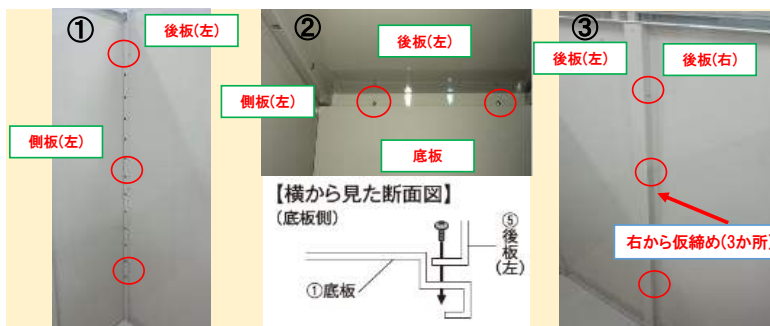
【上から見た断面図】



②後板を側板へはめ込む

次に後板(左)を取り付けます。側板のコの字の部分に後板を少し浮かせた状態ではめ込みます。しっかりとめ込みが確認できた後、側板を下へスライドさせて底板に取り付けます。

取り付け後、後板を側板へスライドさせます(右上図)。

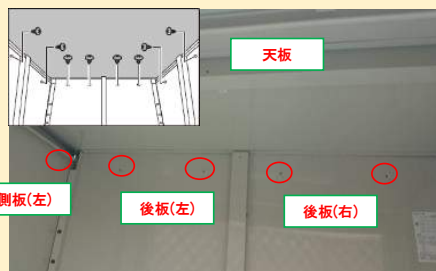


①内側から側板側に3か所、②底辺側に2か所それぞれ仮締めを行ってください。後板(右)も同様に組み付けをします。次に③内側から両後板を後板(右側)から薄板タッピンねじで仮締めて仮締めを行い、後板を固定します。

【上から見た断面図】
(後板側)



④天板の組付け

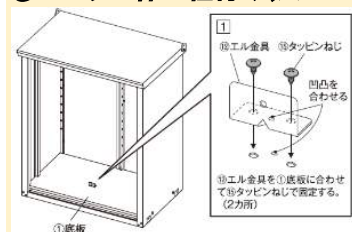


次に天板の取り付けを行います。必ず二人以上で天板をかぶせてください。構造上天板は引き戸側が上部に傾いた設計となっております。

天板をかぶせると後板、側板の部分と穴が合致しますので薄板用タッピンねじで8か所仮締めを行います。

災害や強風時の転倒防止のために転倒防止金具の取り付けも必ず行ってください。ここまでの作業が完了したら全ての薄板タッピンねじの本締めを行います。

⑤センター枠の組付け(※0915サイズは除く)



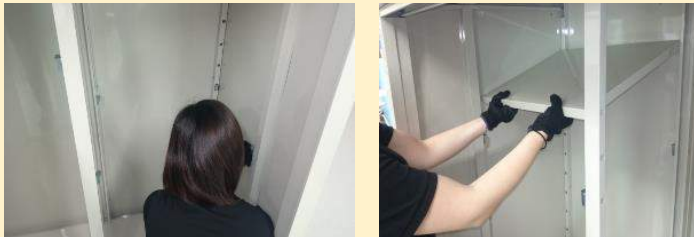
底板にL金具を取り付けます。底板に合わせて2か所タッピンねじで固定してください。



センター枠2つを①後板②L字金具、天板補強部の2か所に組付けを行います。②の上部はタッピンねじの取り付け向きが違うので注意してください。また、②センター枠はL字金具にしっかりと差し込んだ状態でタッピンねじで固定してください。

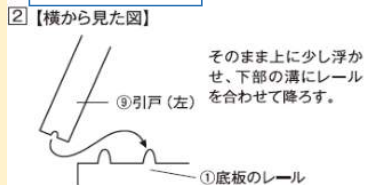
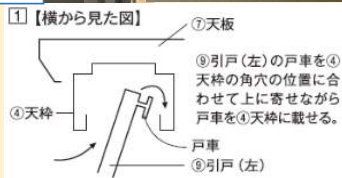
GREEN LIFE

⑦ 棚板の組付け



次に棚受け金具を側板、後板、センター枠(前後)のお好みの高さに取り付けます。棚板を図のように斜めに入れ、棚受け金具にのせてから水平にしてください。収納物に合わせて12段階まで調整することが可能です。

⑧ 引戸の組付け



最後に引き戸を組付けます(最初は奥のレールに引き戸(左)を取り付けます)。天枠の2か所の角穴に引き戸の戸車を載せ、その状態で引き戸を水平に降ろして底板のレールに載せます。レールに載せる際に、引き戸を少し浮かして戸車が角穴から抜け出さないように注意しましょう。(引戸を取り付けた際、開閉がスムーズにいかない場合、戸車がしっかりと角穴に載っていない可能性が高いので注意してください。)左右の引き戸を取り付け、スムーズに開閉できれば完成です！

ダシーレ完成！



組み立て初心者の私でも簡単に組み立てができました！(所要時間60分)
お手頃な値段で高機能な物置です！
ぜひお試しください！

